

屑といぬCOMICS

# ベルサイユの仮面

アマデウス×サンソン

## 魔術師手術中



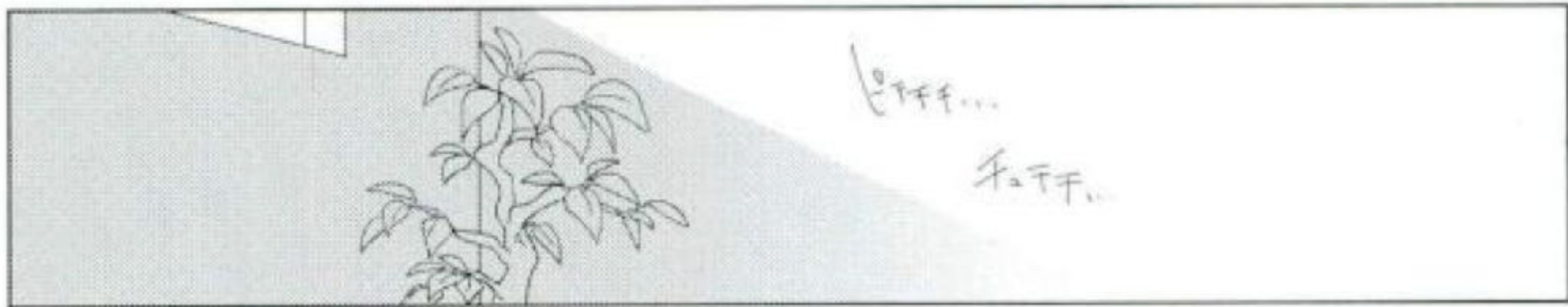
屑といぬCOMICS

# ベルサイユの仮面

アマデウス×サンソン

## 魔術師手術中





—仮面をつけた謎のヒーロー—  
そういう役回りのキャラクターには  
いつか必ず 正体を明かす時がくるものだ



第三再臨で仮面を  
手に入れてすぐだった

やあそこに行く君！  
浮かない顔だが  
どうしたのかな？

私はアマデウス仮面。  
通りすがりの妖精さんだ

…初めまして

よろしく

まさか本気で信じるとは  
流石に思わなかったので、  
正直 最初はかなりヒいた

——最近は、そろそろ  
マズいなと思っていた

他に友達がいらないのか——  
コイツはやたらと  
アマデウス仮面に懐いてきて

アマデウス仮面として  
会うのは決まって夜だ  
他人に見られたら  
何て言われるかわからない

妖精は夜にしか姿を  
見せないものだ、とか  
なんとか誤魔化していたけど  
もう限界だった

だから あのお月見事件は  
ちょうどいい機会だった

それで終わって  
いい筈だった

けど

実を言うと

私は、月の女神の  
使い魔なんだ

女神が顕現された以上、  
私の役目も終わり  
——君とはお別れだ

……良心の呵責に  
耐えかねて——とか  
まあ そんな所だ



なんだと!? 誰がバカだ!

まあバカだとは 前から思ってたけど ここまでとは夢にも

胸を かくすな

あの騒ぎのときも 内心では僕をバカに していたんだろ!?

おまえが 言ったんじゃない...



もう貴様など知るか! ワイバーンの角に頭 ぶつけて償え! バカ!



...さいあく 最悪だっ

なんてことを

おあ...うまい 掛詞だな...



それで？  
君の困った友人  
というの？

はい…彼は優れた音楽家  
なのですが、その才能とは  
特に関係なくとにかく  
下品な人間のクズで…

悪かったな  
…それはまた大変  
曲者のようだ



……あ  
微笑った



…でも  
それでも彼の音楽は  
本当に素晴らしいから  
…それも悔しいかな

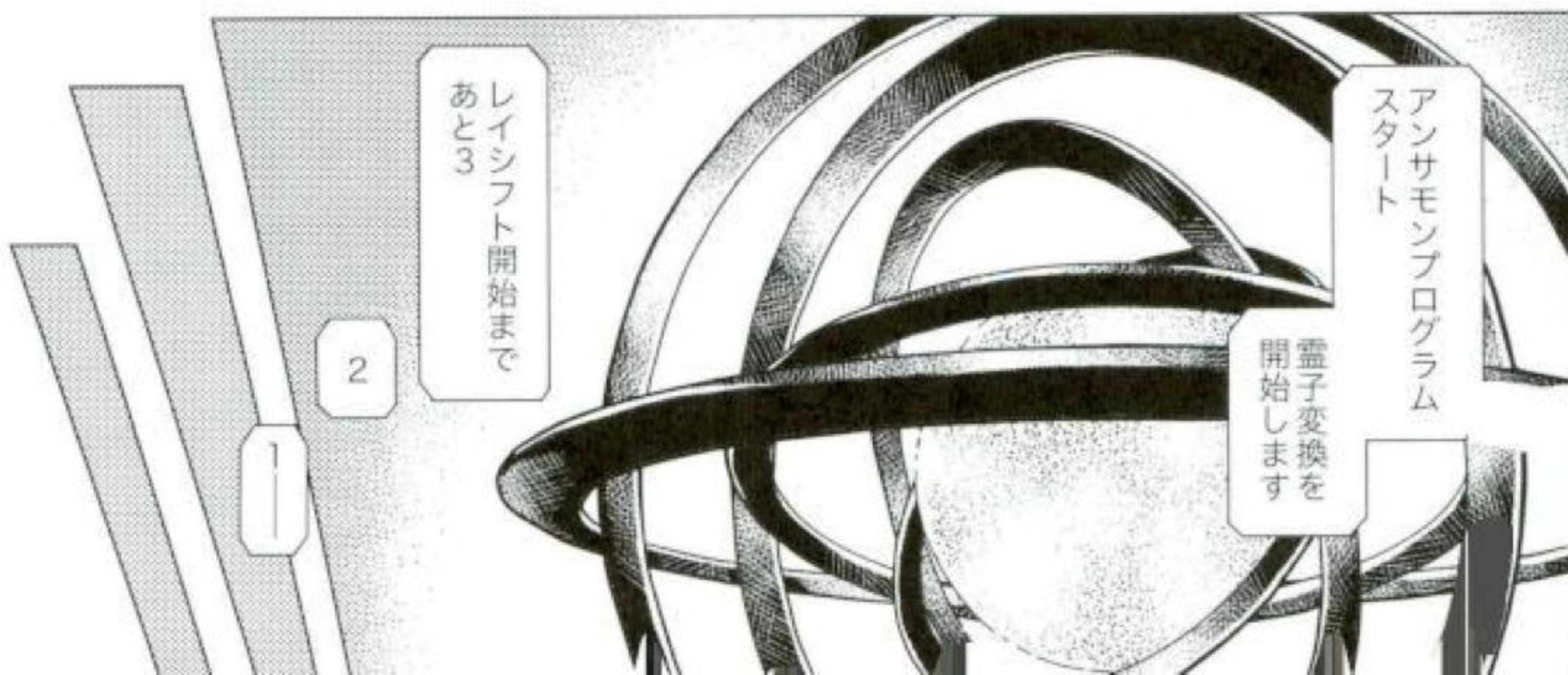
心が洗われて…  
救われたような  
気持ちになる



……  
はあ…











……あり流石に  
寿命縮んだわ……

まあとつくに  
死んでるけど

恐らく座標の  
計測ミスだ……

マスターの  
安否が気になる、  
移動しよう

移動っても  
アテはあるのか？

ただココに  
居るより  
マシだ



落下地点にデカイ木が  
あって良かった……

闇雲に動き回ると  
危ないぜ？  
ちよつと冷静に――

うるさい

協力する気が  
ないなら  
黙っている！





……  
南西から  
水音が聞こえる。  
多分ローヌ川だ

お前の言う通り、  
座標がズレただけなら  
川沿いを進めば  
リヨンに出られる

……ふん



お前と馴れ合う  
気は無いけどさ

こういう非常時くらい  
ハイモニーを  
大事にしろよ

うるさい

聞けよこのクソ  
体育会系

進むのが早すぎる、  
まだ音の確認が

黙れ



だから

うるさいと  
言って——

——おい  
サンソン!



!?



エサを探して街から  
出てきたってとこか…

コイツら、ここで  
獲物がかかるのを  
待ってやがった!

…ゾンビ兵!?

どうして森の  
中にまで…!

心拍もない、呼吸もしない  
連中は黙っていれば  
それこそ死体と同じだ

そりや僕に  
聴こえないワケだよ

アマデウス!?

お前……  
目が……?

あー……ヤツらの  
血かな

ガラにもなく  
戦うとロクな  
ことがない

動くな、今  
医術を……

駄目だ

ツ、僕が気に入らない  
のはわかるが……

腐っても兵士連中に  
囲まれてるんだぜ?

戦力外の治療の前に  
やることがあるだろ  
処刑人

しかし……!

奴らが動き出した今は  
正確な位置がわかる

隠れてても 傷んだ音が  
よく聴こえるよ

そう

お前は 指揮された通りに  
剣を振り下ろせばいい

得意だろ?  
そういうの



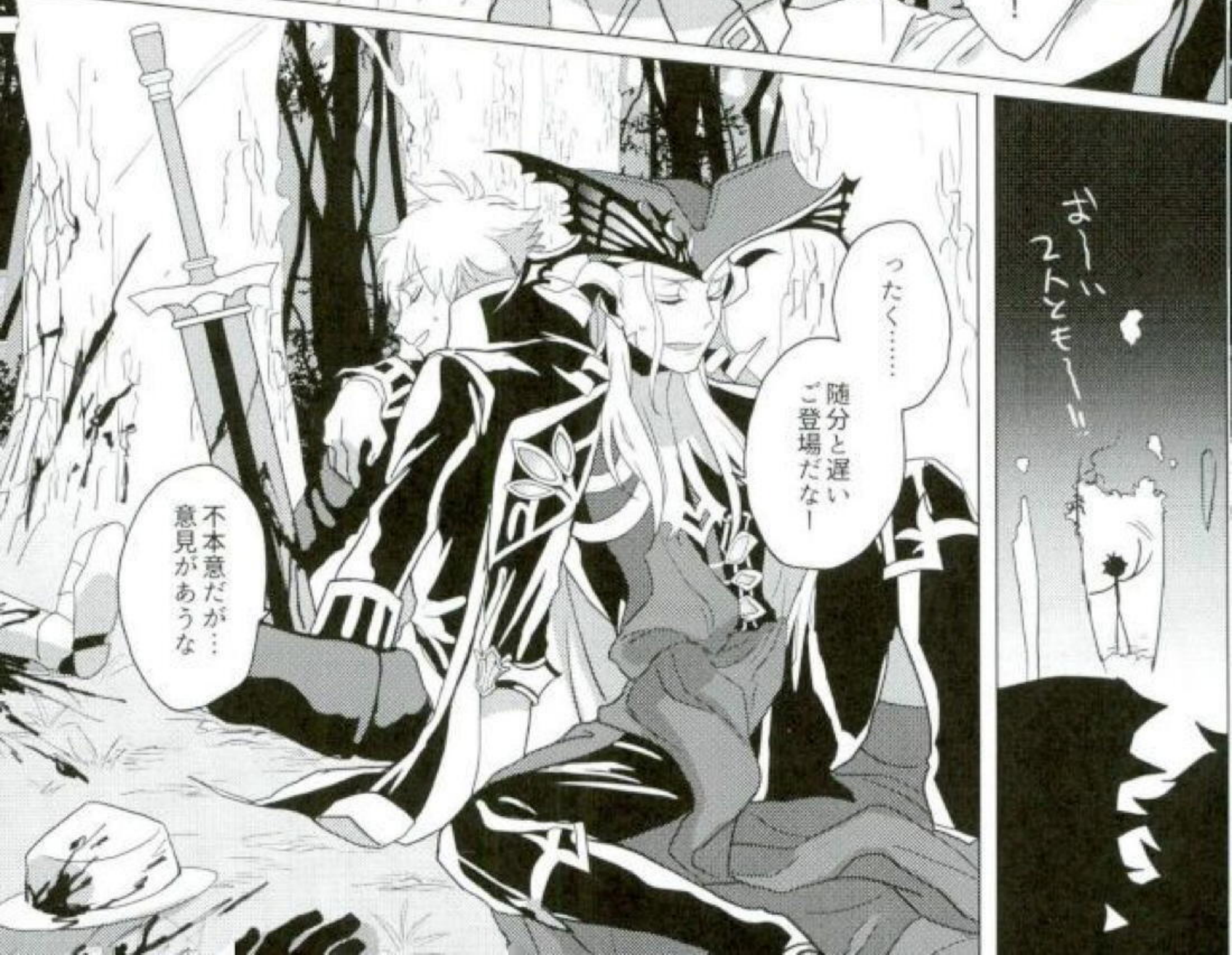
—この、  
…クズめ！

気張れよ？この戦いが  
終わったら報酬に  
鎮魂歌を聴かせてやる

フラグを  
立てるな！



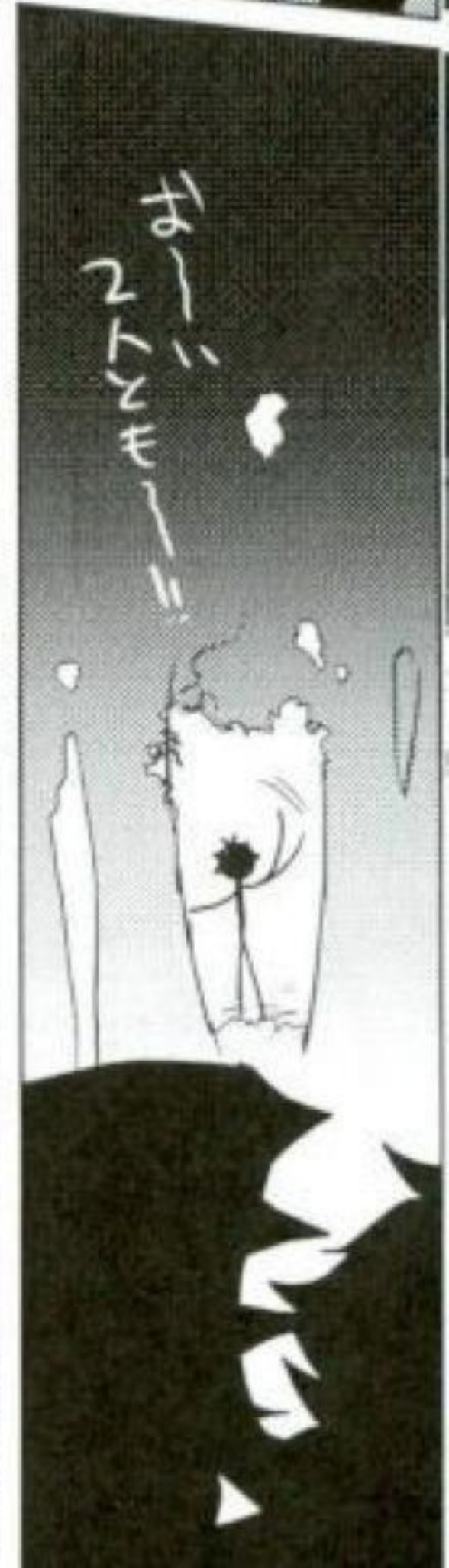
あ！  
あれは……！



随分と遅い  
ご登場だなー

不本意だが…  
意見があうな

ったく……



ほーい、  
2トとモー……

アキラ

コッ...

コッ コッ

.....なんだ  
本当に報酬を  
受け取りに来たのか

.....僕は  
君が、わからなく  
なった...

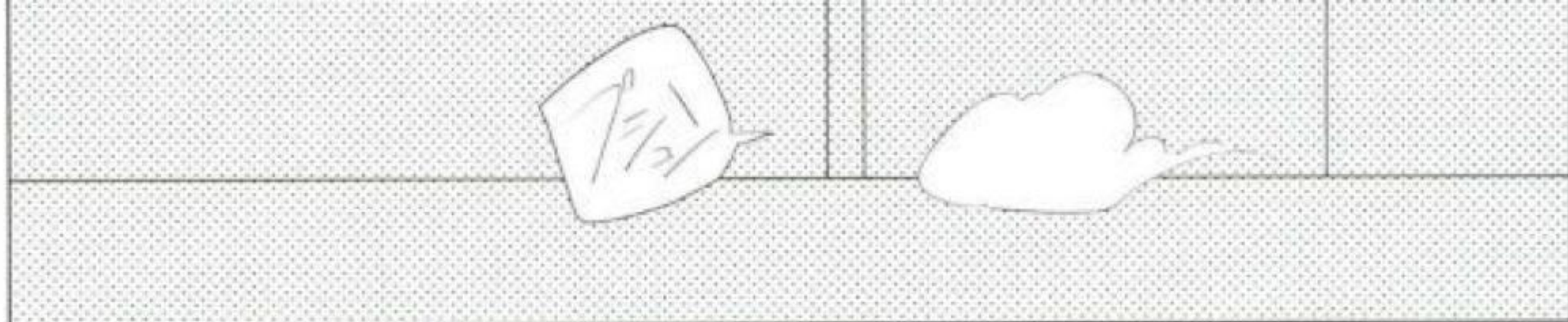
サンソン?

ま、お前にしては  
上出来なほうか

だから.....  
確かめたい

と...思う





ZZZZ

人が…真剣に緊張  
しているときに  
……この……!

はいはい  
ごめんで

ほら その愉快的な  
装備外して

ゆかない  
じゃない……

ベッド行くぞ

……

……明かりを  
消してくれ

あ?

なに言ってるんだ、  
僕を確かめる  
ために来たなら

明るい所で  
見ないと  
ダメだろ?

……その  
アマテウス……

んー?

そういう  
問題じゃ

ん





待つ

えっ  
あ



これなら その鳥目でも  
誰に抱かれてるかな  
ちゃんと分かるよな

...っハ、

あ...っ

あう、





…そんなこと

今の…君にだけは  
言われたくない…!

ハハ 確かに…

僕もそろそろ  
限界だし—



最後まで  
付き合えよ

ひああっ…!?

はあっあ…ツ

そんな…  
はげし、っ

はあ

は…

ああ

あっ

はっ



あん

あ…

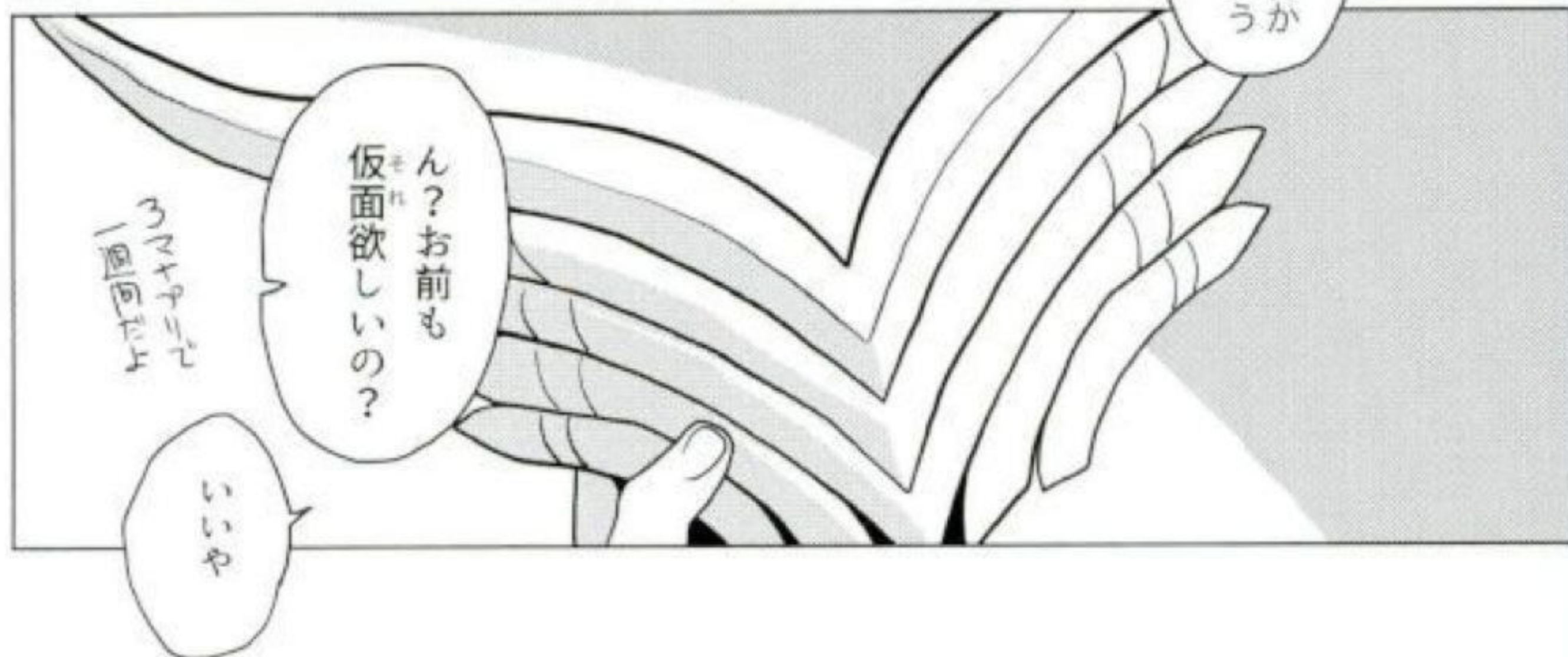
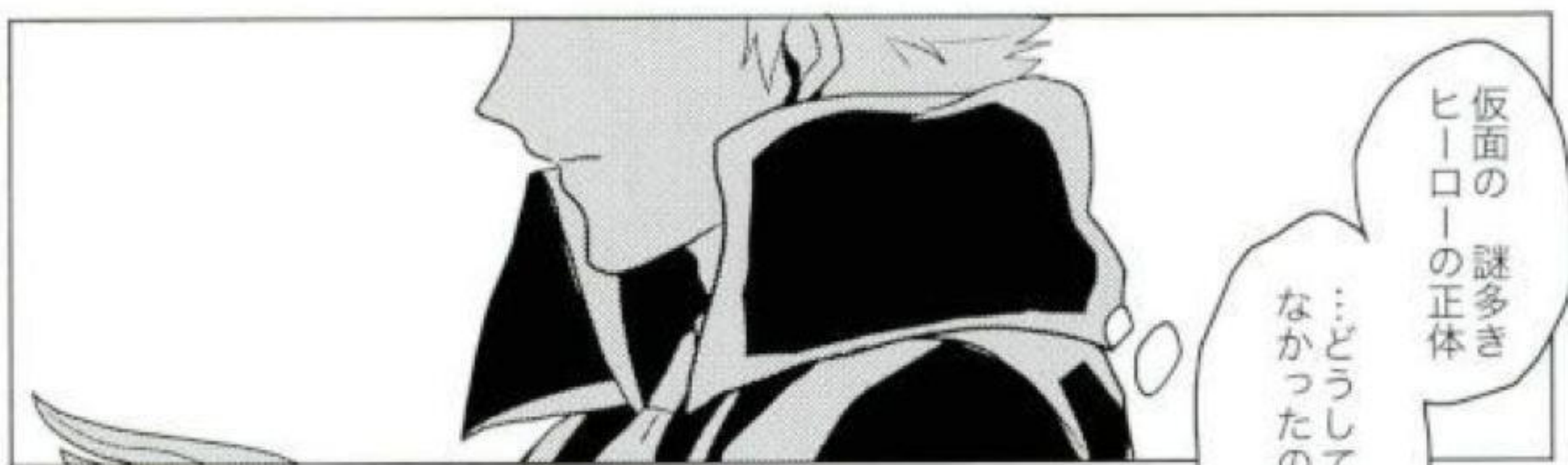
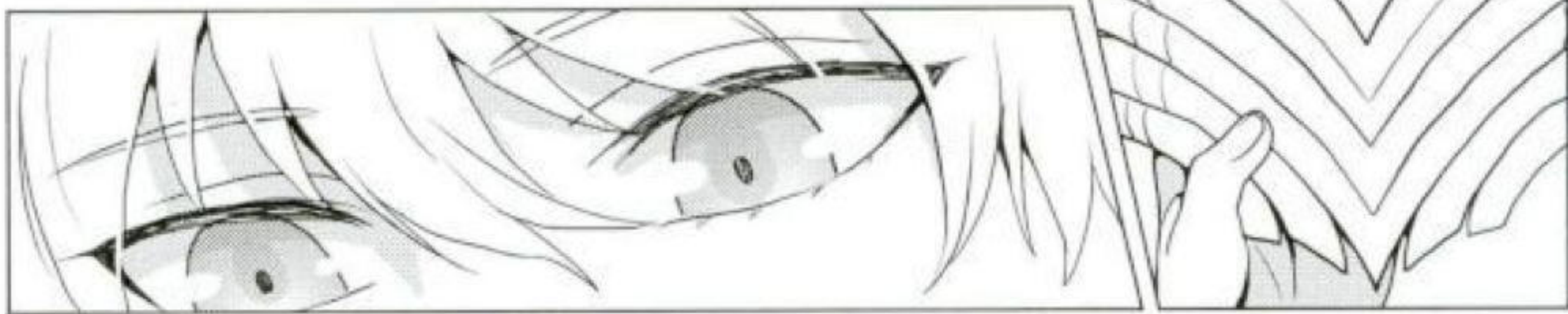
ひう

く…っん

あッ

ふ…んん







こんなものが  
なくても 君は

とっく  
僕の一

?





こんなものが  
なくても 君は

とつくた、  
僕の――

?

僕には不要だ